

令和3年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

事務事業名	市制施行70周年記念事業			整理番号	— —
				担当課係	秘書政策課
事業予算費目	款	2	総務費	記入者職・氏名	
	項	1	総務管理費	内線等	371
	目	1	一般管理費	事業区分	経常事業
	大事業	9	市制施行記念事業費	事業期間	令和 年 ~ 年度
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				
根拠法令等	小松島市表彰条例、小松島市表彰条例施行規則				

■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）

市制施行記念日である令和3年6月1日に、小松島市表彰条例に基づき市職員や市議会議員、来賓の同席のもと、功労表彰および善行表彰を執り行う。昭和56年度から継続して実施している事業となる。
また、10年ごとの節目に発行をしている市勢要覧についても70周年を記念し、発行を予定している。

事業の内容	手段（計画している主な活動の内容、手段、手順）
	市制施行日に、本市ミリカホールにて記念式典の実施を予定している。 また、コロナ禍における式典実施となるため、例年通りのやり方に終始するのではなく、例えば式典を分けて行うことで参加者の密を避けるなどの方法についても検討している。 市勢要覧については、前回の60周年記念の際も発行しているように今回の70周年においても直近の市政状況にあわせて改定を行う。
事業の目的	効果（事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか）
	10周年ごとに行っている市制施行記念日の表彰については、例年よりも対象人数を増やし、市政功労者や市民の模範と認められる方を表彰することで本市の自治振興の促進につながると考えている。

■総合計画(前期基本計画)との整合性

事業目的が総合計画(前期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(前期基本計画)上の位置付け	基本目標	8. 市民参画・協働のまちづくり
	<input type="checkbox"/> いない		大項目	④ みんなで創るまちづくり
			中項目	8-1 市民参画と協働の推進
			小項目	市民の自主的な活動支援と公共サービスを担う多様な主体の育成
(理由) 上記総合計画には、近年、地域社会における人と人とのつながりの希薄化が広まりつつある中で、自らが暮らす地域のために自らが活動することに生きがいを見出す人が増加しており、市民活動団体等の積極的な取り組みを進めていく、といった内容の記載がある。 本事業における市政への功労者等を表彰することにより功績等を称えることは、市民参画や協働のまちづくりを推進していくことにつながると考えられ、総合計画との整合性は図られていると思われる。				

■他の自治体の類似する政策との比較検討

他自治体の中には、毎年記念式典を開催せず60周年や70周年等の節目の年のみに開催している自治体もある。

■市民参加の実施の有無とその内容 (有) ・ 無) ○を入れてください。

事業の対象	対象（誰、何を対象にしているのか）
	小松島市民等 本市の市勢情報を必要としている方や提供すべき人・団体等
事業の意図	意図（事業の狙いはなにか、対象をどう変えるのか）
	自治の振興を促進することを目的としており、本事業の実施を通じて市民との協働のまちづくりを推進する。また、要覧を作成し広く紹介することで、本市への興味と理解を深めてもらうことにつながると考えられる。
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	(市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか)
	地域貢献した者や団体に対する表彰は地域活性化に資するものであるとの意見があり、令和3年度には70周年を迎えるにため、更なる自治振興への意識向上につながるとの声がある。
事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか？	(社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺の状況等は今後どのように変化していくか)
	国においては、「栄典授与の中期重点方針」が示され、栄典授与分野や栄典事務の見直しを図るなど適時適切な制度改正に努めている。このことから、各地方自治体の表彰においても時代の変化に対応した制度改正を行っていく必要があると考えられる。

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

		全体計画	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	0					
		地 方 債	0					
		その他（利用者負担等）	0					
		一 般 財 源	1,149	1,149				
	A 直接事業費（千円）	1,149	1,149	0	0	0	0	
	人件費	正 規 職 員 数	0.20 人	0.20 人	人	人	人	人
		職 員 人 件 費 ①	1,253	1,253				
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 数	0.00 人	人	人	人	人	人
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 の 賃 金 等 ②	0					
	B 人件費計（千円）①+②	1,253	1,253	0	0	0	0	
A + B	2,402	2,402	0	0	0	0		

有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか？	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> a ない	理由	表彰を行うことで市民との協働のまちづくりを推進することができ、市勢要覧を発行することで本市の歴史や文化の魅力を紹介し、市への理解を深めることができると考えられるため、本事業を行わない場合の影響はあると考える。
	② 類似事業との整理統合はできないか？	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> a できる	理由	類似事業はないと考えられる。
	③ 成果をさらに向上させる余地はありますか？	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> a ある	理由	幅広く功労のある方が選ばれるような体制構築が必要である。

◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。

有効性	①	
	②	
	③	官・民を問わず幅広く功労者を選定できるよう表彰候補者を把握しやすい体制の構築を行う。

所属長による総合的なコメント

70年の節目事業は、市の姿を再認識する重要なイベントである。

令和3年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

事務事業名	市制施行70周年記念事業			整理番号	— —
				担当課係	秘書政策課
事業予算費目	款	2	総務費	記入者職・氏名	
	項	1	総務管理費	内線等	371
	目	1	一般管理費	事業区分	臨時事業
	大事業	13	市制施行70周年記念事業	事業期間	単年度のみ 令和3年～3年度
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				
根拠法令等					

■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）

令和3年6月1日は、昭和26年6月1日の市制施行日から70周年を迎える。そのような中、10年ごとの節目となる令和3年度においては、「NHKラジオ公開収録」の実施や「小松島70年のあゆみ映像資料」の放映、また「小松島70年のあゆみ写真展」を始め、年度を通じた様々な記念事業の実施を予定している。
これまでにおいても、市制施行の節目である10年ごとの周年事業や前回の60周年の年には、各種同様の記念事業を実施している。

事業の内容	手段（計画している主な活動の内容、手段、手順）
	「NHKラジオ公開収録」、「小松島70年のあゆみ映像資料」の放映、「小松島70年のあゆみ写真展」や本市にゆかりのある「芥川賞作家・吉村萬吉氏トークショー（仮称）」、「ハナミズキ便」の返送等を予定している。 また、各事業の実施の際には、広報こまつしまやホームページでの告知を行うことで、より多くの市民に広く周知を図ることを考えている。
事業の目的	効果（事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか）
	70周年の記念事業を年度を通じて市内全域で行うことにより、市政への市民参加をより一層促す機会ととらえ、市民と共に歩む魅力あるまちづくりを目指していきたいと考えている。 また、例年行っている市民活動団体等の活動や事業に70周年の冠を称することで、市民自らも記念事業に参加しているといった意識の醸成も目指していく。

■総合計画(前期基本計画)との整合性

事業目的が総合計画(前期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(前期基本計画)上の位置付け	基本目標	8. 市民参画・協働のまちづくり
	<input type="checkbox"/> いない		大項目	④ みんなで創るまちづくり
			中項目	8-1市民参画と協働の推進
			小項目	市民の自主的な活動支援と公共サービスを担う多様な主体の育成
(理由) 第6次総合計画において、市民参画・協働のまちづくりとして市民の市政への参画を推進している。より多くの市民の方にまちづくりに関心を持っていただくためには、情報の共有化を図るとともに市民と市が連携して行う事業や活動団体の醸成が望まれている。 その実現のためのひとつの方法として、市制施行70周年という記念の年に周年事業を行うことで、市民が市政へ関心を持ってもらえるきっかけとすることができ、冠を称した活動を行うことで市民参画を促すことも可能であるため、総合計画（前期基本計画）との整合性は図られているものと考えられる。				

■他の自治体の類似する政策との比較検討

各市町においても、節目となる年においては同様の事業を行っている。

■市民参加の実施の有無とその内容 (有) ・ 無) ○を入れてください。

事業の対象	対象（誰、何を対象にしているのか）	小松島市民等
	事業の意図	小松島市民の方々が、市制により一層の関心を持ち自ら参加する契機とするとともに、本市に愛着や誇りを持ち、日々の営みを大切にしたい後世につながるまちづくりとなるような記念事業の実施を考えている。
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	(市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか)	周年事業のひとつである「本別町との交流事業」について、過去の周年事業の際には一般市民から参加者を募集した経緯があることから、令和3年度においても同様に募集を行うことを検討してほしいといった要望がある。
	事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか？	(社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺の状況等は今後どのように変化していくか) コロナ禍における周年事業のあり方や方法について、例年と違った開催方法が求められている中、本市の感染状況やワクチン接種の状況を鑑み、検討を重ねていく必要があると考えている。

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

		全体計画	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	0					
		地 方 債	0					
		その他（利用者負担等）	0					
		一 般 財 源	738	738				
	A 直接事業費（千円）	738	738	0	0	0	0	
	人件費	正 規 職 員 数	0.30 人	0.30 人	人	人	人	人
		職 員 人 件 費 ①	1,892	1,892				
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 数	0.00 人	人	人	人	人	人
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 の 賃 金 等 ②	0					
	B 人件費計（千円）①+②	1,892	1,892	0	0	0	0	
A + B	2,630	2,630	0	0	0	0		

有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか？	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> a ない	理由	市制施行の節目の年に周年事業を行わないことは、市民の市政への関心の機会を奪うことになり、また今までに市民と市とで作り上げてきたものを次につなげていくことができなくなると思われるため、本事業を行わない場合の影響は大きいと考えられる。
	② 類似事業との整理統合はできないか？	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> a できる	理由	市制施行の記念事業に類似する事業はないと考えられるため、整理統合は難しいと考えられる。
	③ 成果をさらに向上させる余地はありますか？	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> a ある	理由	周年事業のあり方や方法について検討を重ね、時代に合った方法を模索していくことで成果向上につながると考えられる。

◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。

有効性	①	
	②	
	③	市独自の周年事業ではなく、学校や自治体・各種市民団体等と連携を図っていく。

所属長による総合的なコメント

県内においては3番目に古い歴史のある本市の姿を再認識するための重要な事業である。